

甚小だより



あま市立甚目寺小学校
1号
平成25年6月14日

一学期後半に入りました

今年、例年よりも早く梅雨入りして雨の日が多いと思っ
ていましたが、まとまった雨が降りません。そんな中
でも、野外学習(5年)2日間を通してキャンプファイヤー時
のみ雨が降ったり、交通安全教室実施中にも少し降ったり
と予定通りに進まないこともありましたが、学校では、何も
かも新しいところから学校生活をスタートした1年生の
子どもたちは、学校探検したり、担任以外の先生と話をし
たりして、学校生活を十分に満喫しているようです。その
証拠に、5月の元気カレンダー(全校で欠席が10人以内の場合
はシールを貼ることに
なっています)は、全授業日「じんちゃんシール」を貼ることが
できました。6月に入ってから現在までも「じんちゃんシール」
が連続して貼られています。このまま、一学期の終業式を
迎えられることを願っています。



調理実習も話し合いですすめる(6年)

さて、本校が、ESD(持続発展教育)に取り組み始めて3年が
経ちました。この間、学年に応じて、甚目寺という地域に
スポットを当てた「地域学習」を進めてきました。まず人や
地域に「かかわり」、身近な人や地域の人に「つたえ」、地
域のよさを共有し「つながる」活動を生活科や総合的な学
習を中心に取り組んできました。引き続き「地域学習」を進
め、地域のよさを深く学ぶ教育を進めていきます。特に本
年度は、子どもたちが「話し合い活動」(言語活動の充実
に向けての取り組み)を進める中で、よりよい解決方法を
見つけ出していく授業を目指します。答えが分かっている
教科指導はもちろん、答えが明確にされていない特別活
動や道徳の授業においても「話し合い」を基本にした授
業を考えていきます。

蒸し暑さと熱中症予防

今週早くも最高気温が35℃を越える「猛暑日」が13日(木)に
ありました。昨年同様今年も、35℃を越え「猛暑日」になる
日が多くなると予想されます。特に梅雨の時期は、蒸し暑
さも手伝って「熱中症」が心配になります。

その1 熱中症を知る

「熱中症」とは、体の中の水分や塩分のバランスが崩れ、
体温調節がうまくいかなくなり、具合が悪くなることです。
「熱中症」の発症例は、全国的に見ると愛知県が一番多い
そうです。

「熱中症」の症状は、「めまいやたちくらみ」「体がだるい」
「体がふるえる」「足がつる」「吐き気がする」などの症
状が出るそうです。

その2 熱中症の予防方法を知る

「熱中症」は気温がそれほど高くなくても湿度が高いと
発症する可能性があります。そこで予防するには、第一に
規則正しい生活を送り体力を高めることだそうです。さら
に、体温を下げる体の仕組み「汗をかく」ことも、大切
な予防だそうです。「汗をかく」ということは、体外に
水分や塩分が出てしまいますので、補給することが必要
になります。また、外出時には帽子をかぶるなど、体
温を高めない工夫も大切になってくるようです。



保健室にて緊急用に用意してある経口保水液

その3 熱中症の対応策を知る

- (1) 症状が比較的軽い場合（熱失神・熱疲労）
 - ・涼しい場所に運んで足を高くして寝かせ、水分と塩分を補給する。
- (2) 症状が重い場合（熱射病）
 - ・緊急事態ですから、一刻も早く病院で治療をする。
 - ・足を高くして寝かせ、氷で首、脇、足の付け根を冷やし救急車を待つ。

学校では、校舎外に出るときは、帽子（黄帽子・赤白帽子）をかぶって活動することや保健室には、経口保水液（写真上）を常備しています。ご家庭での話題にさせていただけると幸いです。

【6月17日～9月30日までの期間限定】

- (1) 原則お茶ですが、スポーツドリンクも水筒に入れ学校で摂取すること
 - ※ 水分補給は、0.1～0.2%の食塩水またはナトリウム40～80mg/100mlのスポーツドリンクがよい 出典 環境省23年版「熱中症環境保健マニュアル」より
 - ※ 上記の基準は、大人用ですので、子ども用はスポーツドリンクを2倍に薄めて補給することが望ましいそうです。
- (2) 首を冷やすためのクールグッズを使用すること（写真下）



※ 首は体内温度を下げる重要な部位であること



水泳シーズン到来

6月12日(水)に6年生によるプール清掃がありました。いよいよ水泳のシーズン到来です。今年は、17日(月)がプール開きとして、全学年がプールに入る予定です。今年も安全に楽しく水泳の授業を進めていきます。なお、水泳授業日の当日には、健康状態も確認する水泳カードが必要になります。保護者印の欄もありますので、押印して持たせてください。

600人以上の児童が泳ぐプールです。水泳期間中は紫外線も強くなる時期でもあります。皮膚の弱い子どもにとって紫外線は大敵になります。したがって水泳期間中につき、紫外線よけ水着（ラッシュガード等）の着用につきましては、認めていきたいと思っております。使用される場合は、保護者より担任へお申し込みください。

工事期間中のご協力を

本年度、甚小では非構造部材耐震改修工事と窓飛散防止フィルム貼り作業があります。したがって、6～7月にかけて南館校舎と北館校舎には、足場が組まれることになりました。9月までは足場がある状態になります。学校生活において子どもたちの安全を守るためには、必要な工事になります。授業日でありましても工事車両が出入りするときもあります。特に、授業参観や個人懇談会における車で来校、そして道路への駐車は、工事車両通行の妨げになります。必ず徒歩か自転車にて来校してくださいませようお願いします。



なお、工事の関係で北校舎北側の駐車場が使用できないため臨時駐車場は、体育館の南側へ移動しフェンスで囲われます。したがって、バスケットゴールは使用できなくなり、サッカーゴールも移動されますので、ご承知おきくださるとともに、ご協力をお願いします。

※ 非構造部材とは？・・・天井材、内装材、照明器具、窓ガラス、書籍等

文部科学省HPより